



2020年1月10日

各 位

会社名 株式会社 幸和製作所  
代表者名 代表取締役社長 玉田 秀明  
(コード番号：7807 東証 JASDAQ)  
問合せ先 管理本部長 山川 晋  
(TEL. 072-238-0605)

**特別損失の計上、業績予想および配当予想の修正ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2020年2月期第3四半期連結会計期間（2019年9月1日～2019年11月30日）に特別損失を計上するとともに、2019年4月12日に公表しております2020年2月期（2019年3月1日～2020年2月29日）の通期連結業績予想および配当予想についての修正、ならびに役員報酬の減額について決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

2020年2月期第3四半期連結結果計期間において、当社が保有する介護サービス事業に係るのれんおよび固定資産について、収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に関する会計基準」に基づき、当該事業に係るのれんの全額および固定資産の一部について、減損損失2億3百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 2020年2月期 連結業績予想数値の修正

(2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想 (A)	6,140	150	169	218	53.31
今回修正予想 (B)	5,906	△126	△96	△358	△84.69
増減額 (B - A)	△233	△276	△265	△576	
増減率 (%)	△3.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年2月期)	4,526	△272	△262	△358	△87.52

(修正の理由)

2020年2月期における当社グループの売上高は、介護サービス事業において新たに介護保険制度における軽度者を対象とした新規顧客獲得を目標としていたものの経営資源の不足等により未達成となり微減し、さらに福祉用具・介護用品製造販売事業およびその他の事業において当初見込んでいた原価低減活動の効果が得られなかったことや子会社取得時に想定できていなかった滞留在庫の廃棄損および評価損を計上したこと等による売上原価の増加も売上総利益の減少要因となり、1億26百万円の営業損失および96百万円の経常損失を見込んでおります。さらに、特別損失として減損損失2億3百万円を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純損失として、3億58百万円を見込んでおります。

### 3. 2020年2月期 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回公表予想 (2019年4月12日発表)	円 銭 —	円 銭 17.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 25.00
今回修正予想				0.00	17.00
当期実績		17.00			
前期実績 (2019年2月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(修正の理由)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題と位置付けております。

当社の利益配分につきましては、配当性向30%を基本方針としておりますが、上述のとおり2020年2月期通期の親会社株主に帰属する当期純損失は3億58百万円の見通しとなりました。

期末配当予想につきましては、2019年4月12日に1株当たり8円と発表しており、前連結会計年度が無配となっていたため、当期に限り中間配当を実施いたしました。これらの結果を勘案し誠に遺憾ながら、期末配当を無配に修正させていただき、年間配当金を17円とさせていただきます。

### 4. 役員報酬の減額について

2020年2月期の通期業績予想の下方修正を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を実施いたします。

#### (1) 取締役の報酬減額

代表取締役、取締役（社外取締役を除く） 役員報酬月額額の20～30%を減額

#### (2) 対象期間

代表取締役、取締役（社外取締役を除く） 2020年3月～2021年2月まで

以上